

名古屋市感染症発生動向調査情報

2019 年(平成 31 年)第 5 週(2019 年 1 月 28 日～2 月 3 日)

名古屋市感染症情報センター（名古屋市衛生研究所疫学情報部）2019 年 2 月 6 日作成

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0-0-0.html>

◆本市の状況

〔トピックス：インフルエンザ〕

- 本市における第 5 週（1 月 28 日～2 月 3 日）のインフルエンザの定点当たり患者報告数は 28.47 人/定点で、先週（43.69 人/定点）より減少しました。
- 愛知県内では、12 月 27 日より警報の指標である「30」を上回る地域があったことから「インフルエンザ警報」が発令されており、依然として保健所管内で警報継続基準値である「10」を上回っていることから警報が継続しています。
- インフルエンザウイルスのうち、近年、国内で流行しているのは、AH1pdm09 亜型（2009 年に流行したインフルエンザ）、AH3 亜型（いわゆる香港型）、B 型（ビクトリア系統、山形系統）です。2018/19 シーズンはこれまでに AH1pdm09 亜型および AH3 亜型が多く検出されています。
- 小児や高齢者、免疫力の低下している方では重症化する場合があるので注意が必要です。

〔麻疹〕

- 本市における第 5 週（1 月 28 日～2 月 3 日）の麻疹の患者報告数は 0 人でした。2019 年にはこれまでに 6 人の麻疹患者が報告されています。
- 麻疹は空気感染をし、その感染力は非常に強いと言われており、感染期間は発症 1 日前から解熱後 3 日後とされています。
- 麻疹の治療は、特異的な根治療法がなく対症療法を行います。
- 予防はワクチン接種で、MR ワクチンの定期予防接種が 1 歳（第 1 期）と小学校入学前年度（第 2 期）に行われています。

〔風しん〕

- 本市における第 5 週（1 月 28 日～2 月 3 日）の風しんの患者報告数は 0 人で、2019 年にはこれまでに 2 人の風しん患者が報告されています。また、全国の風しんの累計患者報告数は 280 人（第 4 週まで）になりました。
- 風しん患者の中心は 30 代から 50 代の男性で、過去に風しんにかかったことのない方や風しんの予防接種を受けたことのない方は、接種について検討が必要です。

〔定点把握感染症の発生動向〕

- インフルエンザの定点当たり患者報告数は、前週の 43.7 人から 28.5 人に減少したが、依然として報告数の多い状態が続いている。
- RS ウイルス感染症の定点当たり患者報告数は、前週の 0.2 人から 0.3 人に増加した。

〔1 類～5 類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2019 年 第 5 週	2 類	結核	6	• 女性、30 歳、肺結核 • 女性、91 歳、肺結核 • 女性、28 歳、肺結核 • 男性、43 歳、肺結核 • 男性、72 歳、肺結核 • 男性、79 歳、肺結核及びリンパ節結核
2019 年 第 5 週	3 類	パラチフス	1	• 女性、18 歳、感染地域：インド
2019 年 第 5 週	5 類	ウイルス性肝炎	1	• 女性、27 歳、B 型、感染経路：性的接触（性交）
2019 年 第 5 週	5 類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	• 女性、4 歳、感染症死亡者の死体
2019 年 第 5 週	5 類	後天性免疫不全症候群	2	• 男性、45 歳、無症状病原体保有者、感染経路：性的接触（同性間）、感染地域：国内 • 女性、40 歳、無症状病原体保有者、感染経路：性的接触（異性間）・タトゥー施術、感染地域：タイ
2019 年 第 5 週	5 類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	• 男性、69 歳、菌検出検体：髄液・血液
2019 年 第 5 週	5 類	梅毒	2	• 男性、33 歳、早期顕症梅毒（1 期） • 女性、48 歳、早期顕症梅毒（2 期）

2019 年 第 5 週	5 類	百日咳	6	- 女性、9 歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市 - 女性、13 歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市 - 女性、33 歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：国内（都道府県不明） - 女性、0 歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：愛知県 - 女性、41 歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市 - 男性、0 歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市
-----------------	-----	-----	---	--

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった 1 類から 5 類全数報告感染症。

診断週	感染症 の分類	疾患	発生数	発生の概要
2019 年 第 4 週	2 類	結核	1	女性、90 歳、肺結核
2019 年 第 4 週	5 類	アメーバ赤痢	1	男性、76 歳、腸管アメーバ症、感染経路：経口感染、感染地域：インドネシア
2019 年 第 4 週	5 類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	男性、76 歳、菌検出検体：膿、菌種：<i>E.cloacae</i>、感染原因：手術部位感染

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

〔2019 年 1 類～5 類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾患	累計
1 類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2 類感染症	急性灰白髄炎	0

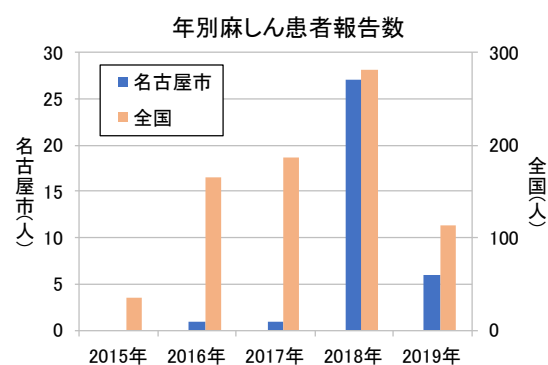
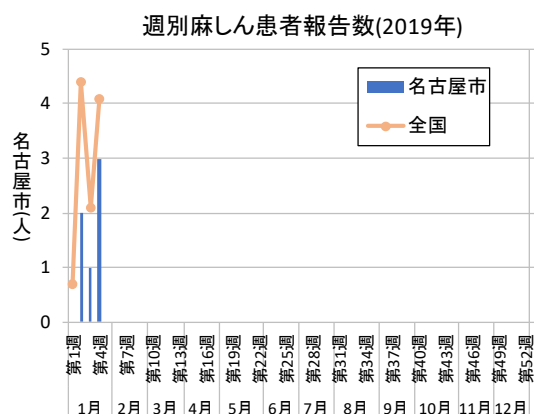
2 類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	42（10）[O] 〔O〕【1】
2 類感染症	ジフテリア	0
2 類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コ ロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
3 類感染症	コレラ	0
3 類感染症	細菌性赤痢	0
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3（1）
3 類感染症	腸チフス	0
3 類感染症	パラチフス	1
4 類感染症	レジオネラ症	1
5 類感染症	アメーバ赤痢	4
5 類感染症	ウイルス性肝炎（E 型肝炎及び A 型肝炎を除く）	1
5 類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3
5 類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、 東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー 熱を除く）	4【1】
5 類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3【1】
5 類感染症	後天性免疫不全症候群	4（3）
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2
5 類感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	1
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	11
5 類感染症	梅毒	16（4）
5 類感染症	百日咳	25
5 類感染症	風しん	2
5 類感染症	麻疹	6

累計は 2019 年第 1 週からの診断週による累計、（ ）内は無症状病原体保有者累計数を再掲、〔 〕内は疑似症累計数を再掲、
【 】内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕内は感染症死亡疑い者の死体累計数を再掲、〈 〉内は後天性免疫不全症候
群の「その他」累計数を再掲。

対象疾患が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

〔名古屋市の麻しん報告数：2019年2月3日作成〕



週別麻しん患者報告数(2019年)

名古屋市	第2週 (1/7～ 1/13)	第3週 (1/14～ 1/20)	第4週 (1/21～ 1/27)						合計(人)
	2	1	3						6※

※第5週(2月3日)まで 表は患者報告のあった週のみ掲載

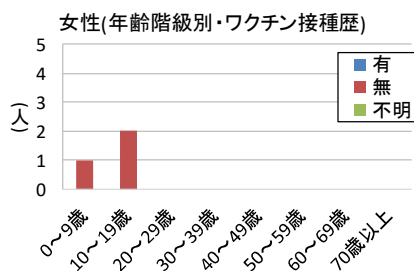
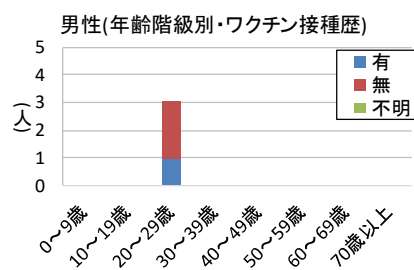
年別麻しん患者報告数

麻しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
名古屋市	75	11	6	19	5	1	20	0	1	1	27	6※1
愛知県	197	29	32	32	39	25	46	0	5	1	37	14※2
全国	11013	732	447	439	283	229	462	35	165	186	282	113※3

※1: 第5週(2月3日)まで ※2: 1月31日時点 ※3: 第4週(1月27日)まで

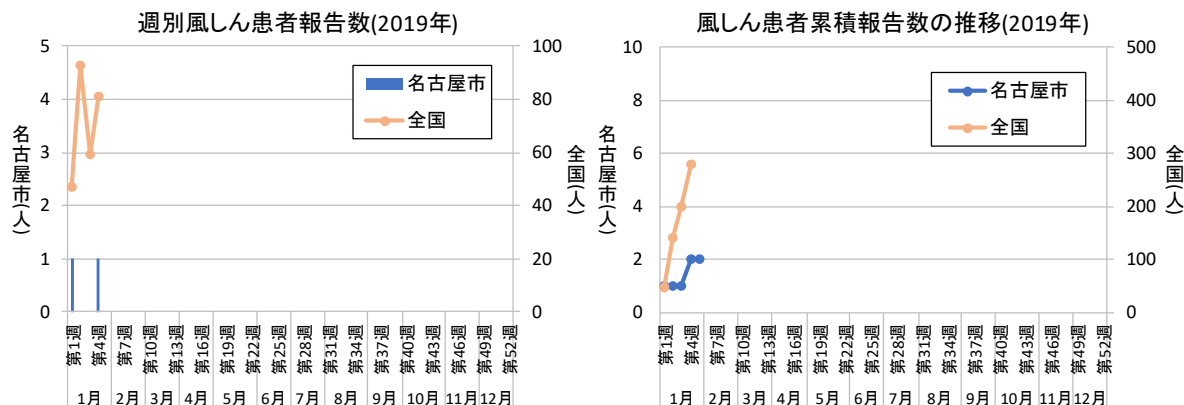
麻しん患者の性別・年齢群別・ワクチン接種歴(2019年名古屋市)

		ワクチン接種歴			
		有	無	不明	総計(人)
男性	0～9歳				0
	10～19歳				0
	20～29歳	1	2		3
	30～39歳				0
	40～49歳				0
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
計(人)		1	2	0	3
女性	0～9歳		1		1
	10～19歳		2		2
	20～29歳				0
	30～39歳				0
	40～49歳				0
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
計(人)		0	3	0	3
総計(人)		1	5	0	6



(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔名古屋市の風しん報告数：2019年2月3日作成〕



週別風しん患者報告数(2019年)

名古屋市	第1週 (12/31～ 1/6)	第4週 (1/21～ 1/27)								合計(人)
	1	1								2※

※第5週(2月3日)まで 表は患者報告のあった週のみ掲載

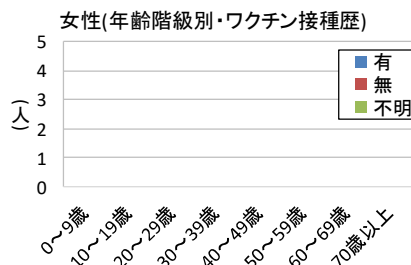
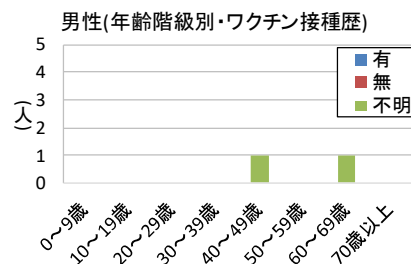
年別風しん患者報告数

風しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
名古屋市	1	1	0	7	38	191	7	2	4	0	58	2※1
愛知県	3	10	3	13	97	375	22	13	20	3	119	4※2
全国	303	147	87	378	2386	14344	319	163	126	93	2917	280※3

※1: 第5週(2月3日)まで ※2: 1月31日時点 ※3: 第4週(1月27日)まで

風しん患者の性別・年齢階級別・ワクチン接種歴(2019年名古屋市)

		ワクチン接種歴			
		有	無	不明	総計(人)
男性	0～9歳				0
	10～19歳				0
	20～29歳				0
	30～39歳				0
	40～49歳			1	1
	50～59歳				0
	60～69歳			1	1
	70歳以上				0
	計(人)	0	0	2	2
女性	0～9歳				0
	10～19歳				0
	20～29歳				0
	30～39歳				0
	40～49歳				0
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)	0	0	0	0
総計(人)		0	0	2	2



(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔愛知県麻しん・風しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻しん・風しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻しん・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先（愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>）をご覧ください。

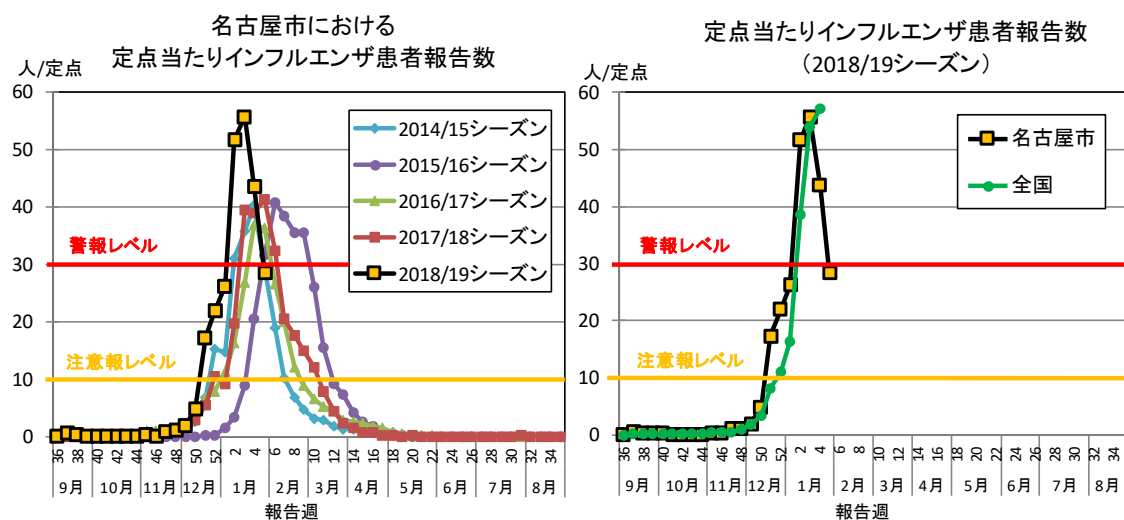
〔定点医療機関からの情報〕

インフルエンザ A 型 47 名 ヒトメタニューモウイルス 2 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ A 型 35 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ A 型 35 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ A 15 名	定点医療機関（東区）
全て A 型インフルエンザ	定点医療機関（北区）
インフルエンザ：A 型 42 名。1 名は A 型に 2 回（1 月と 2 月）感染。B 型 1 名。	定点医療機関（西区）
インフルエンザ A 型 55 名、B 型 1 名、臨床診断 1 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型 27 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型 20 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型 21 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型：2 名、インフルエンザ B 型：1 名	定点医療機関（中区）

インフルエンザA型：23 名	定点医療機関（中区）
インフルエンザA型：12 名	定点医療機関（中区）
インフルエンザA型：9名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：22名、臨床診断例：2名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：15名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：15名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：16名、臨床診断例：1名（12歳男）	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：7名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザA型：19名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザA型：7名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザA型13名	定点医療機関（港区）
インフルエンザA型12名	定点医療機関（港区）
インフルエンザは、すべてA型です。男性90名 女性68名	定点医療機関（南区）
インフルエンザは、すべてA型です。男性13名 女性8名	定点医療機関（南区）
インフルエンザは、すべてA型です。男性15名 女性13名	定点医療機関（南区）

インフルエンザA型 26名 、 臨床判断 3名	定点医療機関（守山区）
インフルエンザA型：23人@その他：3人	定点医療機関（緑区）
インフルエンザA型	定点医療機関（緑区）
インフルエンザA型	定点医療機関（緑区）
インフルエンザA型	定点医療機関（緑区）
すべてインフルエンザA型でした	定点医療機関（名東区）
インフルエンザA型31名、インフルエンザB型2名 でした。	定点医療機関（名東区）
全員A型インフルエンザ24名	定点医療機関（天白区）
第2週より溶連菌感染症多いです。	定点医療機関（天白区）

〔名古屋市のインフルエンザ患者報告数の推移：2019年2月6日作成〕



※名古屋市は2019年第5週、全国は2019年第4週までの報告数

定点当たり患者報告数(2018/19シーズン)

	第50週 (12/10～ 12/16)	第51週 (12/17～ 12/23)	第52週 (12/24～ 12/30)	第1週 (12/31～ 1/6)	第2週 (1/7～ 1/13)	第3週 (1/14～ 1/20)	第4週 (1/21～ 1/27)	第5週 (1/28～ 2/3)
名古屋市	4.86	17.34	22.00	26.23	51.66	55.77	43.69	28.47
愛知県	8.41	23.64	30.45	46.42	75.38	81.86	61.82	—
全国	3.35	8.05	11.17	16.30	38.54	53.91	57.09	—

※「1」を超えると流行入り、「10」を超えると注意報、「30」を超えると警報の基準

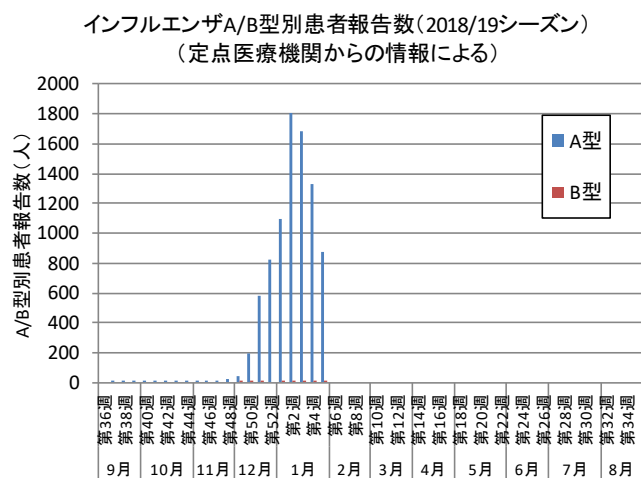
※愛知県内では、12月27日より「30」を上回る地域があったことから「インフルエンザ警報」が発令されており、

依然として保健所管内で警報継続基準値である「10」を上回っていることから警報が継続しています。

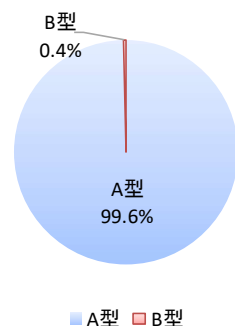
※報告数は各週公表時における速報値

インフルエンザA/B型別流行状況

インフルエンザウイルス迅速診断キットによるインフルエンザA/B型別の検査結果が定点医療機関から報告されています。本市におけるインフルエンザA/B型別の患者情報を集計したところ、2019年第5週は、インフルエンザA型875人、インフルエンザB型5人でした。2018/19シーズンの累計では、インフルエンザA型8543人(99.6%)、B型31人(0.4%)となっています。



インフルエンザA/B型別患者報告数の割合(2018/19シーズン累計)



(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

◆2019 年第 5 週 患者報告数（疾病区別）、定点あたり患者報告数（疾病区別）、年齢階層別患者報告数（疾病別）

患者報告数(名古屋市)																	2019年第5週(2019年1月28日～2月3日)		
疾患	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比*
★インフルエンザ	164	116	100	197	157	38	80	44	60	125	138	229	231	73	129	112	1993	0.7	0.8
○RSウイルス感染症	5		1	7	4							4				1	22	1.3	1.5
○咽頭結膜熱	1	1		1								2	3		3		11	1.0	0.8
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	7	9	6			1			5	9	8	1	5	6	11	76	1.0	1.0
○感染性胃腸炎	12	5	21	21	16	7	9	1		19	47	8	7		24	8	205	0.9	0.8
○水痘	1										1		4				6	0.4	0.6
○手足口病										2							2	0.7	0.5
○伝染性紅斑	3		2	1								2			2	1	11	0.7	1.4
○突発性発疹		1		2					2				1			1	7	1.0	0.6
○ヘルパンギーナ															1		1		1.5
○流行性耳下腺炎															1		1	0.5	0.2
△急性出血性結膜炎																	0		
△流行性角結膜炎																	0	0.0	0.0
◇細菌性髄膜炎																	0		
◇無菌性髄膜炎																	0		
◇マイコプラズマ肺炎																	0		0.0
◇クラミジア肺炎																	0		
◇感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																	0		0.0
計	194	130	133	235	177	45	90	45	62	151	195	253	247	78	166	134	2335	*過去3年の同週の平均値との比	
★インフルエンザ定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
○小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
△眼科定点数	1		1	1	1			1	1	1		1		1	1	1	11		
◇基幹定点数			1				1			1							3		
★○△◇は定点種別を示す。																	のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。		

定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況(名古屋市) 2019年第5週(2019年1月28日～2月3日)

疾患	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
インフルエンザ	32.8	29.0	20.0	49.3	31.4	9.5	16.0	8.8	15.0	31.3	34.5	57.3	46.2	18.3	32.3	28.0	28.5
RSウイルス感染症	1.0		0.2	1.8	0.8							1.0				0.3	0.3
咽頭結膜熱	0.2	0.3		0.3								0.5	0.6		0.8		0.2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.6	1.8	1.8	1.5			0.2			1.3	2.3	2.0	0.2	1.3	1.5	2.8	1.1
感染性胃腸炎	2.4	1.3	4.2	5.3	3.2	1.8	1.8	0.2		4.8	11.8	2.0	1.4		6.0	2.0	2.9
水痘	0.2										0.3		0.8				0.1
手足口病										0.5							0.0
伝染性紅斑	0.6		0.4	0.3								0.5			0.5	0.3	0.2
突発性発疹		0.3		0.5					0.5				0.2			0.3	0.1
ヘルパンギーナ															0.3		0.0
流行性耳下腺炎															0.3		0.0
急性出血性結膜炎																	
流行性角結膜炎																	

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

流行警報・注意報について

■ 太字の数字

は流行発生警報

■ 斜体の数字

は流行発生注意報

■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値(左表)に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

年齢階層別患者報告数(名古屋市)

2019年第5週(2019年1月28日～2月3日)

疾患 \ 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ	16	24	65	118	97	138	99	113	95	104	72	263	56	121	172	137	115	82	72	34

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	6	5	7	2		1						1		
咽頭結膜熱		2	3	2	1	2		1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			3	5	7	17	10	6	3	8	3	5	1	8
感染性胃腸炎	3	19	24	16	14	11	12	13	4	4	3	13	5	64
水痘							3		2			1		
手足口病			1			1								
伝染性紅斑		1		2		1	2	3				2		
突発性発しん			6		1									
ヘルパンギーナ					1									
流行性耳下腺炎							1							

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
急性出血性結膜炎																			
流行性角結膜炎																			

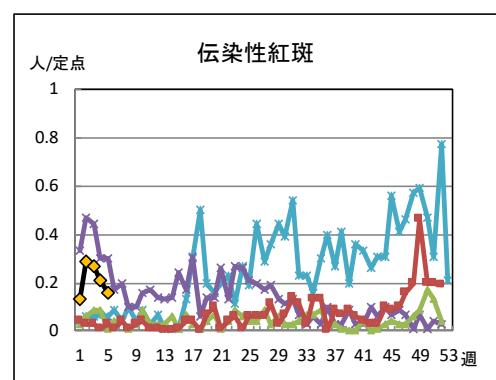
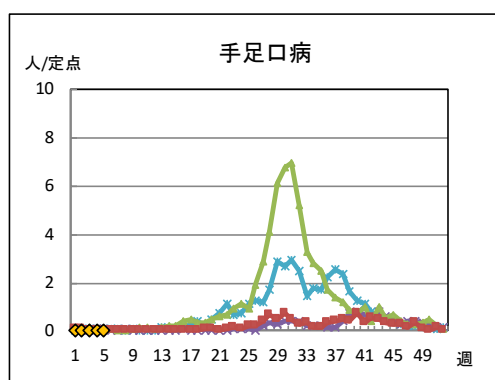
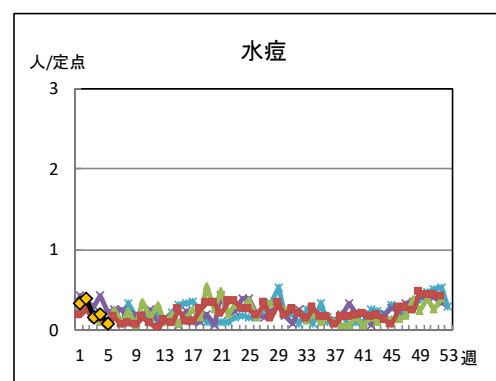
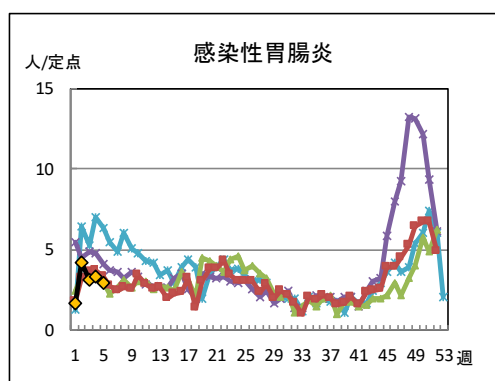
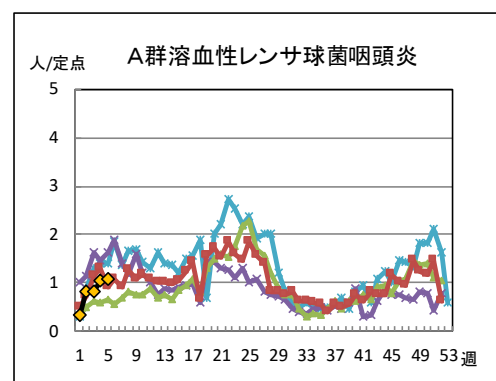
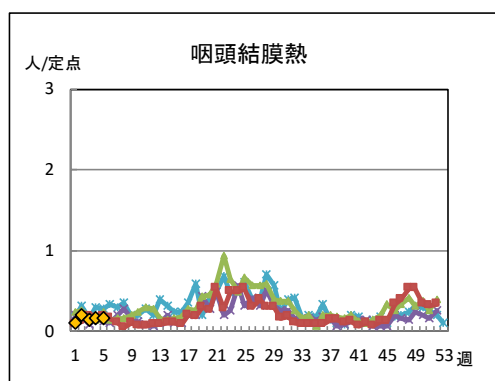
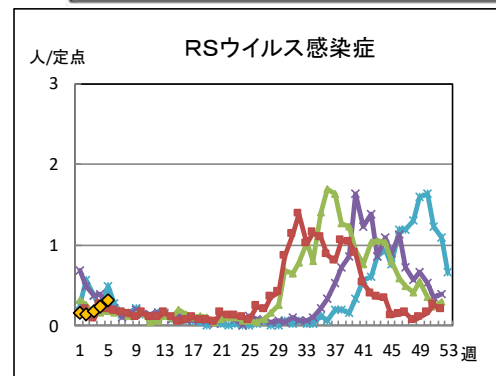
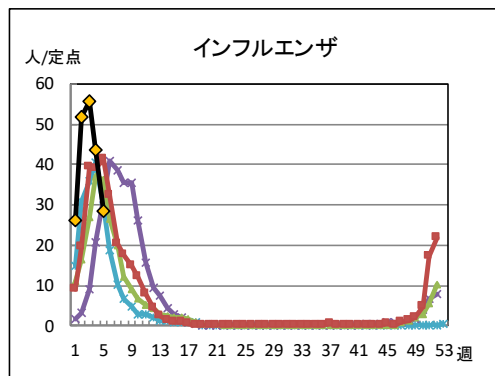
疾患 / 年齢階層	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎																
無菌性髄膜炎																
マイコプラズマ肺炎																
クラミジア肺炎																
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																

〔インフルエンザ入院サーベイランス結果(基幹定点3カ所)〕

【2019年第5週:2件】 【2018/2019シーズン累計数:31件】

- 男性、4歳
- 女性、82歳

◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2019年第5週まで



◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2019年第5週まで

